

日医発第 770 号(保 147)
平成 26 年 10 月 22 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長
横倉 義 武

材料価格基準の一部改正等について

平成 26 年 9 月 30 日付厚生労働省告示第 378 号をもって材料価格基準の一部が改正されるとともに、平成 26 年 9 月 30 日付保医発 0930 第 2 号厚生労働省保険局医療課長通知（以下、本通知という。）をもって「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」（平成 26 年 3 月 5 日保医発 0305 第 5 号）等の一部が改正され、平成 26 年 10 月 1 日から適用されました。

今回の改正は、別途ご連絡申し上げました「医療機器の保険適用について」（平成 26 年 9 月 30 日付保医発 0930 第 3 号）の 16 ページに掲載されている医療機器が区分 C 1 として保険適用されたことによるものです。（平成 26 年 10 月 22 日付 日医発第 771 号（保 148）をご参照下さい。）

つきましては、今般発出された告示・通知による改正内容について、貴会会員に周知くださるようお願い申し上げます。

なお、今回の材料価格基準の改正に伴う実施上の留意事項等につきましては、日本医師会雑誌 12 月号に掲載を予定しております。また、日本医師会ホームページのメンバーズルーム中、医療保険の「新たに保険適用が認められた検査・医療機器等」に掲載いたします。

（添付資料）

1. 官報(平 26. 9. 30 第 6384 号 抜粋)
2. 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について (平 26. 9. 30 保医発 0930 第 6 号 厚生労働省保険局医療課長通知)
3. 新たに機能区分及び保険償還価格が設定された医療機器 (日本医師会医療保険課)

○厚生労働省告示第三百七十八号

診療報酬の算定方法（平成二十年厚生労働省告示第五十九号）の規定に基づき、特定保険医療材料及びその材料価格（材料価格基準）（平成二十年厚生労働省告示第六十一号）の一部を次のように改正し、平成二十六年十月一日から適用する。

平成二十六年九月三十日

厚生労働大臣 塩崎 恭久

別表Ⅱ区分0059(1)中「人工関節用部品」を「人工関節用部品」に改める。

別表Ⅱ区分0065(3)(4)を次のように改める。

- ④ 関節窩ヘッド
- ア 標準型
- イ 外側補正型
- ウ 下方補正型

155,000円
 164,000円
 164,000円

別表Ⅱ区分066(1)を次のように改める。

(1) 上腕骨側材料

① 標準型

324,000円

② 特殊型

339,000円

別表Ⅱ区分152に次のように加える。

(5) 部品連結用

① 縦型

185,000円

② 横型

342,000円

別表Ⅴ(5)の表040(4)②の項中「22500BZX004010000」を「22500BZX00401000」に改める。

保医発0930第6号
平成26年9月30日

地方厚生(支)局医療課長
都道府県民生主管部(局)
国民健康保険主管課(部)長
都道府県後期高齢者医療主管部(局)
後期高齢者医療主管課(部)長

殿

厚生労働省保険局医療課長
(公印省略)

厚生労働省保険局歯科医療管理官
(公印省略)

「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の
留意事項について」等の一部改正について

今般、「特定保険医療材料及びその材料価格(材料価格基準)(平成20年厚生労働省告示第61号)」の一部が平成26年厚生労働省告示第378号をもって改正され、平成26年10月1日から適用することとされたことに伴い、下記の通知の一部を別添のとおり改正し、同日から適用することとするので、その取扱いに遺漏のないよう、貴管下の保険医療機関、審査支払機関等に対して周知徹底を図られたい。

記

別添1 「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」(平成26年3月5日保医発0305第5号)の一部改正について

別添2 「特定保険医療材料の定義について」(平成26年3月5日保医発0305第8号)の一部改正について

「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」
(平成26年3月5日保医発0305第5号)の一部改正について

- 1 Iの3の(79)のエの次に次のように加える。
オ 部品連結用②横型を用いる場合は、セット（肋骨間用、肋骨腰椎間用又は肋骨腸骨間用）は1回の手術につき1セットを限度として算定できる。なお、医学的根拠に基づき2セット以上を算定する場合は、診療報酬明細書の摘要欄にその医学的根拠を詳細に記載すること。
- 2 (別紙)の表059(1)中「人工股関節用部品・一般オプション部品」を「人工関節用部品・一般オプション部品」に、同表059(1-2)中「人工股関節用部品・カップサポート」を「人工関節用部品・カップサポート」に改める。
- 3 (別紙)の表065(6)中「リバーズ型・関節窩ヘッド」を「リバーズ型・関節窩ヘッド・標準型」に改め、同表065(6)の次に次のように加える。
(6-2) リバーズ型・関節窩ヘッド・外側補正型 人工肩関節・SR-4-2
(6-3) リバーズ型・関節窩ヘッド・下方補正型 人工肩関節・SR-4-3
- 4 (別紙)の表066(1)中「上腕骨側材料」を「上腕骨側材料・標準型」に改め、同表066(1)の次に次のように加える。
(1-2) 上腕骨側材料・特殊型 人工肘関節・EH-1-2

「特定保険医療材料の定義について」（平成26年3月5日
保医発0305第8号）の一部改正について

- 1 別表のⅡの059(2)中「人工股関節用部品」を「人工関節用部品」に改める。
- 2 別表のⅡの059(3)中「人工股関節用部品」を「人工関節用部品」に改め、同表のⅡの059(3)の①のうち「又は臼蓋底」を、「臼蓋底、上腕骨又は尺骨」に改める。
- 3 別表のⅡの065(2)中「8区分」を「10区分」に、「13区分」を「15区分」に改める。
- 4 別表のⅡの065(3)の⑬を⑮とし、⑫を⑭とし、⑪を⑬とし、⑩を次のように改める。
 - ⑩ リバース型・関節窩ヘッド・標準型
次のいずれにも該当すること。
 - ア 腱板機能不全を呈する症例に対して肩関節の機能を代替するために使用する、臼蓋側と骨頭側の解剖学的形状を反転させたリバース型の全人工肩関節であること。
 - イ ベースプレートと組み合わせて使用し、骨頭の機能を代替するものであること。
 - ウ ⑪及び⑫に該当しないこと。
- 5 別表のⅡの065(3)の⑩の次に次のように加える。
 - ⑪ リバース型・関節窩ヘッド・外側補正型
次のいずれにも該当すること。
 - ア 腱板機能不全を呈する症例に対して肩関節の機能を代替するために使用する、臼蓋側と骨頭側の解剖学的形状を反転させたリバース型の全人工肩関節であること。
 - イ ベースプレートと組み合わせて使用し、骨頭の機能を代替するものであること。
 - ウ 肩甲骨ノッチングを低減するために、回転の中心を外側へ補正した形状であること。
 - ⑫ リバース型・関節窩ヘッド・下方補正型
次のいずれにも該当すること。
 - ア 腱板機能不全を呈する症例に対して肩関節の機能を代替するために使用する、臼蓋側と骨頭側の解剖学的形状を反転させたリバース型の全人工肩関節であること。
 - イ ベースプレートと組み合わせて使用し、骨頭の機能を代替するものであること。
 - ウ 肩甲骨ノッチングを低減するために、回転の中心を下方へ補正した形状であること。
- 6 別表のⅡの066の(2)中「上腕骨側」の次に「(2区分)」を、「尺骨側」の次に「(1区分)」を、「橈骨側」の次に「(1区分)」を加え、「3区分」を「4区分」に改める。
- 7 別表のⅡの066の(3)の①を次のように改める。

① 上腕骨側・標準型

以下のいずれにも該当すること

- ア 肘関節の機能を代替するために上腕骨側に使用する材料であること。
- イ ②に該当しないこと。

別表のⅡの066の(3)の③を④とし、②を③とし、①の次に次のように改める。

② 上腕骨側・特殊型

以下のいずれにも該当すること。

- ア 肘関節の機能を代替するために上腕骨側に使用する材料であること。
- イ 摩耗粉を軽減するための以下の加工等が施されているものであって、その趣旨が薬事法承認事項又は認証事項に明記されていること。
 - ビタミンEに浸漬又は添加されていること。

8 別表のⅡの152の(2)中「肋骨間用」の次に「(1区分)」を、「肋骨腰椎間用」の次に「(1区分)」を、「肋骨腸骨間用」の次に「(1区分)」を、「固定クリップ(伸展術時交換用)」の次に「(1区分)及び部品連結用(2区分)」を加え、「4区分」を「6区分」に改める。

9 別表のⅡの152の(3)の④の次に次のように加える。

⑤ 部品連結用・縦型

複数の肋骨を把持することを目的に①、②又は③に追加して使用するセットで、以下の構成品を含むものであること。

スタガードコネクター

⑥ 部品連結用・横型

複数の肋骨を把持することを目的に①、②又は③に追加して使用するセットで、以下の構成品を含むものであること。

ア トランスバースバー

イ トランスバースクレードル

ウ コネクター

(参考)

「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」(平成 26 年 3 月 5 日保医発 0305 第 5 号)の一部改正について

(傍線の部分は改正部分)

改正後	現 行
<p>I 診療報酬の算定方法(平成 20 年厚生労働省告示第 59 号)(以下「算定方法告示」という。)別表第一医科診療報酬点数表に関する事項</p> <p>1・2 (略)</p> <p>3 在宅医療の部以外の部に規定する特定保険医療材料(フィルムを除く。)に係る取扱い</p> <p>(1)~(78) (略)</p> <p>(79) 胸郭変形矯正用材料 ア~エ (略)</p> <p><u>オ 部品連結用②横型を用いる場合は、セット(肋骨間用、肋骨腰椎間用又は肋骨腸骨間用)は1回の手術につき1セットを限度として算定できる。なお、医学的根拠に基づき2セット以上を算定する場合は、診療報酬明細書の摘要欄にその医学的根拠を詳細に記載すること。</u></p> <p>(80)~(100) (略)</p> <p>4・5 (略)</p>	<p>I 診療報酬の算定方法(平成 20 年厚生労働省告示第 59 号)(以下「算定方法告示」という。)別表第一医科診療報酬点数表に関する事項</p> <p>1・2 (略)</p> <p>3 在宅医療の部以外の部に規定する特定保険医療材料(フィルムを除く。)に係る取扱い</p> <p>(1)~(78) (略)</p> <p>(79) 胸郭変形矯正用材料 ア~エ (略)</p> <p>(80)~(100) (略)</p> <p>4・5 (略)</p>

(参考)

「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」(平成26年3月5日保医発0305第5号)の一部改正について

(傍線の部分は改正部分)

改正後		現 行	
告示名	略称	告示名	略称
059 オプション部品		059 オプション部品	
(1) <u>人工関節用部品</u> ・一般オプション部品	オプション部品・OH-1	(1) 人工股関節用部品・一般オプション部品	オプション部品・OH-1
(1-2) <u>人工関節用部品</u> ・カップサポート	オプション部品・OH-1-2	(1-2) 人工股関節用部品・カップサポート	オプション部品・OH-1-2
(2) 人工膝関節用部品	オプション部品・OK-2	(2) 人工膝関節用部品	オプション部品・OK-2
(3) 人工関節固定強化部品・人工関節固定強化部品 (I)	オプション部品・OF-3	(3) 人工関節固定強化部品・人工関節固定強化部品 (I)	オプション部品・OF-3
(3-2) 人工関節固定強化部品・人工関節固定強化部品 (II)	オプション部品・OF-3-2	(3-2) 人工関節固定強化部品・人工関節固定強化部品 (II)	オプション部品・OF-3-2
(4) 再建用強化部品	オプション部品・OR-4	(4) 再建用強化部品	オプション部品・OR-4
(5) 人工肩関節再置換用ステムヘッド	オプション部品・OR-5	(5) 人工肩関節再置換用ステムヘッド	オプション部品・OR-5
065 人工肩関節用材料		065 人工肩関節用材料	
(1) 肩甲骨側材料・標準型	人工肩関節・SG-1	(1) 肩甲骨側材料・標準型	人工肩関節・SG-1
(1-2) 肩甲骨側材料・特殊型	人工肩関節・SG-1-2	(1-2) 肩甲骨側材料・特殊型	人工肩関節・SG-1-2
(2) 上腕骨側材料・標準型	人工肩関節・SH-2	(2) 上腕骨側材料・標準型	人工肩関節・SH-2
(2-2) 上腕骨側材料・特殊型	人工肩関節・SH-2-2	(2-2) 上腕骨側材料・特殊型	人工肩関節・SH-2-2
(3) リバース型・上腕骨ステム・標準型	人工肩関節・SR-1	(3) リバース型・上腕骨ステム・標準型	人工肩関節・SR-1
(3-2) リバース型・上腕骨ステム・特殊型	人工肩関節・SR-1-2	(3-2) リバース型・上腕骨ステム・特殊型	人工肩関節・SR-1-2
(4) リバース型・スペーサー	人工肩関節・SR-2	(4) リバース型・スペーサー	人工肩関節・SR-2
(5) リバース型・インサート・標準型	人工肩関節・SR-3	(5) リバース型・インサート・標準型	人工肩関節・SR-3

<p>(5-2) リバース型・インサート・特殊型</p> <p>(6) リバース型・関節窩ヘッド・標準型</p> <p><u>(6-2) リバース型・関節窩ヘッド・外側補正型</u></p> <p><u>(6-3) リバース型・関節窩ヘッド・下方補正型</u></p> <p>(7) リバース型・ベースプレート・標準型</p> <p>(7-2) リバース型・ベースプレート・特殊型</p> <p>(8) リバース型・切替用</p>	<p>人工肩関節・SR-3-2</p> <p>人工肩関節・SR-4</p> <p><u>人工肩関節・SR-4-2</u></p> <p><u>人工肩関節・SR-4-3</u></p> <p>人工肩関節・SR-5</p> <p>人工肩関節・SR-5-2</p> <p>人工肩関節・SR-6</p>	<p>(5-2) リバース型・インサート・特殊型</p> <p>(6) リバース型・関節窩ヘッド</p> <p>(7) リバース型・ベースプレート・標準型</p> <p>(7-2) リバース型・ベースプレート・特殊型</p> <p>(8) リバース型・切替用</p>	<p>人工肩関節・SR-3-2</p> <p>人工肩関節・SR-4</p> <p>人工肩関節・SR-5</p> <p>人工肩関節・SR-5-2</p> <p>人工肩関節・SR-6</p>
<p>066 人工肘関節用材料</p> <p>(1) 上腕骨側材料・標準型</p> <p><u>(1-2) 上腕骨側材料・特殊型</u></p> <p>(2) 尺骨側材料</p> <p>(3) 橈骨側材料</p>	<p>人工肘関節・EH-1</p> <p><u>人工肘関節・EH-1-2</u></p> <p>人工肘関節・EU-2</p> <p>人工肘関節・ER-3</p>	<p>066 人工肘関節用材料</p> <p>(1) 上腕骨側材料</p> <p>(2) 尺骨側材料</p> <p>(3) 橈骨側材料</p>	<p>人工肘関節・EH-1</p> <p>人工肘関節・EU-2</p> <p>人工肘関節・ER-3</p>

(参考)

「特定保険医療材料の定義について」(平成26年3月5日保医発0305第8号)の一部改正について

(傍線の部分は改正部分)

改正後	現 行
<p>(別表)</p> <p>Ⅱ 医科点数表の第2章第3部、第4部、第6部、第9部、第10部及び第11部に規定する特定保険医療材料(フィルムを除く。)及びその材料価格</p> <p>001～058 (略)</p> <p>059 オプション部品</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 機能区分の考え方</p> <p>使用部位又は使用目的により、<u>人工関節用部品</u>(2区分)、人工膝関節用部品(1区分)、人工関節固定強化部品(2区分)、再建用強化部品(1区分)及び人工肩関節再置換用ステムヘッド(1区分)の合計7区分に区分する。</p> <p>(3) 機能区分の定義</p> <p>① <u>人工関節用部品</u>・一般オプション部品</p> <p>次のいずれかに該当すること。</p> <p>ア・イ (略)</p> <p>ウ <u>骨セメントの流出を防止するために、大腿骨、脛骨、白蓋底、上腕骨又は尺骨に使用するものであって、骨栓(ボーンプラグ)、セメントリストラクターであること。</u></p> <p>② <u>人工関節用部品</u>・カップサポート</p> <p>白蓋形成用カップの固定を補助する目的に使用するカップサポートであること。</p> <p>③～⑦ (略)</p> <p>060～064 (略)</p> <p>065 人工肩関節用材料</p>	<p>(別表)</p> <p>Ⅱ 医科点数表の第2章第3部、第4部、第6部、第9部、第10部及び第11部に規定する特定保険医療材料(フィルムを除く。)及びその材料価格</p> <p>001～058 (略)</p> <p>059 オプション部品</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 機能区分の考え方</p> <p>使用部位又は使用目的により、<u>人工股関節用部品</u>(2区分)、人工膝関節用部品(1区分)、人工関節固定強化部品(2区分)、再建用強化部品(1区分)及び人工肩関節再置換用ステムヘッド(1区分)の合計7区分に区分する。</p> <p>(3) 機能区分の定義</p> <p>① <u>人工股関節用部品</u>・一般オプション部品</p> <p>次のいずれかに該当すること。</p> <p>ア・イ (略)</p> <p>ウ <u>骨セメントの流出を防止するために、大腿骨、脛骨又は白蓋底に使用するものであって、骨栓(ボーンプラグ)、セメントリストラクターであること。</u></p> <p>② <u>人工股関節用部品</u>・カップサポート</p> <p>白蓋形成用カップの固定を補助する目的に使用するカップサポートであること。</p> <p>③～⑦ (略)</p> <p>060～064 (略)</p> <p>065 人工肩関節用材料</p>

(1) (略)

(2) 機能区分の考え方

人工肩関節用材料は、構造、使用目的及び使用部位により肩甲骨側(2区分)、上腕骨側(2区分)、リバーstype(10区分)及び切替用(1区分)の合計15区分に区分する。

(3) 機能区分の定義

① 肩甲骨側・標準型

次のいずれにも該当すること。

ア (略)

イ ②及び⑩から⑭までに該当しないこと。

② 肩甲骨側・特殊型

次のいずれにも該当すること。

ア・イ (略)

ウ ⑩から⑭までに該当しないこと。

③ ～⑨ (略)

⑩ リバーstype・関節窩ヘッド・標準型

次のいずれにも該当すること。

ア 腱板機能不全を呈する症例に対して肩関節の機能を代替するために使用する、白蓋側と骨頭側の解剖学的形状を反転させたリバーstypeの全人工肩関節であること。

イ ベースプレートと組み合わせて使用し、骨頭の機能を代替するものであること。

ウ ⑪及び⑫に該当しないこと

⑪ リバーstype・関節窩ヘッド・外側補正型

次のいずれにも該当すること。

ア 腱板機能不全を呈する症例に対して肩関節の機能を代替するために使用する、白蓋側と骨頭側の解剖学的形状を反転させたリバーstypeの全人工肩関節であること。

イ ベースプレートと組み合わせて使用し、骨頭の機能を代替する

(1) (略)

(2) 機能区分の考え方

人工肩関節用材料は、構造、使用目的及び使用部位により肩甲骨側(2区分)、上腕骨側(2区分)、リバーstype(8区分)及び切替用(1区分)の合計13区分に区分する。

(3) 機能区分の定義

① 肩甲骨側・標準型

次のいずれにも該当すること。

ア (略)

イ ②及び⑩から⑫までに該当しないこと。

② 肩甲骨側・特殊型

次のいずれにも該当すること。

ア・イ (略)

ウ ⑩から⑫までに該当しないこと。

③ ～⑨ (略)

⑩ リバーstype・関節窩ヘッド

次のいずれにも該当すること。

ア 腱板機能不全を呈する症例に対して肩関節の機能を代替するために使用する、白蓋側と骨頭側の解剖学的形状を反転させたリバーstypeの全人工肩関節であること。

イ ベースプレートと組み合わせて使用し、骨頭の機能を代替するものであること。

ものであること。

ウ 肩甲骨ノッチングを低減するために、回転の中心を外側へ補正した形状であること。

⑫ リバース型・関節窩ヘッド・下方補正型

次のいずれにも該当すること。

ア 腱板機能不全を呈する症例に対して肩関節の機能を代替するために使用する、臼蓋側と骨頭側の解剖学的形状を反転させたリバース型の全人工肩関節であること。

イ ベースプレートと組み合わせて使用し、骨頭の機能を代替するものであること。

ウ 肩甲骨ノッチングを低減するために、回転の中心を下方へ補正した形状であること。

⑬ リバース型・ベースプレート・標準型

次のいずれにも該当すること。

ア・イ (略)

⑭ リバース型・ベースプレート・特殊型

次のいずれにも該当すること。

ア・エ (略)

⑮ 切換用

(略)

066 人工肘関節用材料

(1) (略)

(2) 機能区分の考え方

人工肘関節用材料は、使用部位により、上腕骨側 (2 区分)、尺骨側 (1 区分) 及び 橈骨側 (1 区分) の合計 4 区分 に区分する。

(3) 機能区分の定義

① 上腕骨側・標準型

以下のいずれにも該当すること。

ア 肘関節の機能を代替するために上腕骨側に使用する材料であること。

⑪ リバース型・ベースプレート・標準型

次のいずれにも該当すること。

ア・イ (略)

⑫ リバース型・ベースプレート・特殊型

次のいずれにも該当すること。

ア・エ (略)

⑬ 切換用

(略)

066 人工肘関節用材料

(1) (略)

(2) 機能区分の考え方

人工肘関節用材料は、使用部位により、上腕骨側、尺骨側 及び 橈骨側 の合計 3 区分 に区分する。

(3) 機能区分の定義

① 上腕骨側

肘関節の機能を代替するために上腕骨側に使用する材料であること。

と。

イ ②に該当しないこと。

② 上腕骨側・特殊型

以下のいずれにも該当すること。

ア 肘関節の機能を代替するために上腕骨側に使用する材料であること。

イ 摩耗粉を軽減するための以下の加工等が施されているものであって、その趣旨が薬事法承認事項又は認証事項に明記されていること。
ビタミンEに浸漬又は添加されていること。

③ 尺骨側

肘関節の機能を代替するために尺骨側に使用する材料であること。

④ 橈骨側

肘関節の機能を代替するために橈骨側に使用する材料であること。

152 胸郭変形矯正用材料

(1) (略)

(2) 機能区分の考え方

構造及び使用部位により、肋骨間用(1区分)、肋骨腰椎間用(1区分)、肋骨腸骨間用(1区分)、固定クリップ(伸展術時交換用)(1区分)及び部品連結用(2区分)の合計6区分に区分する。

(3) 機能区分の定義

①～④ (略)

⑤ 部品連結用・縦型

複数の肋骨を把持することを目的に①、②又は③に追加して使用するセットで、以下の構成品を含むものであること。

スタガードコネクター

⑥ 部品連結用・横型

複数の肋骨を把持することを目的に①、②又は③に追加して使用するセットで、以下の構成品を含むものであること。

ア トランスバースパー

② 尺骨側

肘関節の機能を代替するために尺骨側に使用する材料であること。

③ 橈骨側

肘関節の機能を代替するために橈骨側に使用する材料であること。

152 胸郭変形矯正用材料

(1) (略)

(2) 機能区分の考え方

構造及び使用部位により、肋骨間用、肋骨腰椎間用、肋骨腸骨間用及び固定クリップ(伸展術時交換用)の合計4区分に区分する。

(3) 機能区分の定義

①～④ (略)

イ トランスバースクレードル

ウ コネクター

新たに機能区分及び保険償還価格が設定された医療機器 (平成 26 年 10 月 1 日適用)

1. 人工肩関節用材料（関節窩ヘッド）

【販売名】 エクリス・リバーズ人工肩関節

(1) グレノイドスフェア 補正型

(2) グレノイドスフェア 偏心型

(バイオジェネシス株式会社)

〔決定区分〕 C 1

〔保険償還価格〕

(1) 164,000 円

(2) 164,000 円

〔決定機能区分〕

(1) 065 人工肩関節用材料 (3) リバーズ型 ④ 関節窩ヘッド イ 外側補正型

(2) 065 人工肩関節用材料 (3) リバーズ型 ④ 関節窩ヘッド ウ 下方補正型

〔主な使用目的〕

本品は、腱板断裂性関節症、腱板広範囲断裂などの腱板機能不全を呈する症例に対して用いる人工肩関節である。なお、術中に本品ベースプレートが適用できないなどの理由でリバーズ型組み合わせでの使用が困難な場合には、緊急的にアナトミカル型の組み合わせで上腕骨頭置換術又は全人工肩関節置換術に使用することがある。

<関連する告示・通知の改正>

- (1) 「材料価格基準」（平成 20 年 3 月 5 日付厚生労働省告示第 61 号）の一部改正（平成 26 年 9 月 30 日厚生労働省告示第 378 号）

「材料価格基準」の別表Ⅱの区分 065 を次のように改める。

065 人工肩関節用材料

(1)～(2) (略)

(3) リバーズ型

①～③ (略)

④ 関節窩ヘッド

ア 標準型

155,000 円

イ 外側補正型

164,000 円

ウ 下方補正型

164,000 円

(改正箇所下線部)

- (2) 「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」（平成 26 年 3 月 5 日保医発 0305 第 5 号）の一部改正（平成 26 年 9 月 30 日 保医発 0930 第 6 号）

「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」の（別紙）を次のように改める。

(別紙)

告示名	略称
065 人工肩関節用材料	
(1) ～ (5-2) (略)	
(6) リバーズ型・関節窩ヘッド・ <u>標準型</u>	人工肩関節・SR-4
<u>(6-2) リバーズ型・関節窩ヘッド・外側補正型</u>	<u>人工肩関節・SR-4-2</u>
<u>(6-3) リバーズ型・関節窩ヘッド・下方補正型</u>	<u>人工肩関節・SR-4-3</u>
(7) ～ (8) (略)	

(改正箇所下線部)

- (3) 「特定保険医療材料の定義について」（平成 26 年 3 月 5 日付保医発 0305 第 8 号）の一部改正（平成 26 年 9 月 30 日 保医発 0930 第 6 号）

「特定保険医療材料の定義について」の別表Ⅱの区分 065 を次のように改める。

065 人工肩関節用材料

(1) (略)

(2) 機能区分の考え方

人工肩関節用材料は、構造、使用目的及び使用部位により肩甲骨側（2 区分）、上腕骨側（2 区分）、リバース型（10 区分）及び切替用（1 区分）の合計 15 区分に区分する。

(3) 機能区分の定義

① 肩甲骨側・標準型

次のいずれにも該当すること。

ア (略)

イ ②及び⑩から14までに該当しないこと。

② 肩甲骨側・特殊型

次のいずれにも該当すること。

ア、イ (略)

ウ 10から14までに該当しないこと。

③ ～⑨ (略)

10 リバース型・関節窩ヘッド・標準型

次のいずれにも該当すること。

ア 腱板機能不全を呈する症例に対して肩関節の機能を代替するために使用する、臼蓋側と骨頭側の解剖学的形状を反転させたリバース型の全人工肩関節であること。

イ ベースプレートと組み合わせて使用し、骨頭の機能を代替するものであること。

ウ 11及び12に該当しないこと

11 リバース型・関節窩ヘッド・外側補正型

次のいずれにも該当すること。

ア 腱板機能不全を呈する症例に対して肩関節の機能を代替するために使用する、臼蓋側と骨頭側の解剖学的形状を反転させたリバース型の全人工肩関節であること。

イ ベースプレートと組み合わせて使用し、骨頭の機能を代替するものであること。

ウ 肩甲骨ノッチングを低減するために、回転の中心を外側へ補正した形状であること。

12 リバース型・関節窩ヘッド・下方補正型

次のいずれにも該当すること。

ア 腱板機能不全を呈する症例に対して肩関節の機能を代替するために使用する、臼蓋側と骨頭側の解剖学的形状を反転させたリバース型の全人工肩関節であること。

イ ベースプレートと組み合わせて使用し、骨頭の機能を代替するものであること。

ウ 肩甲骨ノッチングを低減するために、回転の中心を下方へ補正した形状であること。

13 リバース型・ベースプレート・標準型

次のいずれにも該当すること。

ア、イ (略)

14 リバース型・ベースプレート・特殊型

次のいずれにも該当すること。

ア～エ (略)

15 切替用

(略)

(改正箇所下線部)

2. 人工肘関節用材料

【販売名】 Nexel Elbow システム

- (1) Nexel 上腕骨コンポーネント、Nexel 上腕骨スクリューキット、Nexel 結合キット
 (2) セメントリストラクターセット (ジンマー株式会社)

〔決定区分〕 C 1

〔保険償還価格〕

- (1) 339,000 円
 (2) 22,000 円

〔決定機能区分〕

- (1) 066 人工肘関節用材料 (1) 上腕骨側材料 ② 特殊型
 (2) 059 オプション部品 (1) 人工関節用部品 ① 一般オプション部品

〔主な使用目的〕

- (1) 本品は、整形外科の人工肘関節置換術において、肘関節機能再建のために使用するインプラトシステムである。
 (2) 本品は、人工肘関節置換術において、骨髓腔内への過剰な骨セメント充填を防ぐために、骨髓腔遠位端を閉塞させる目的で使用するオプション部品である。

<関連する告示・通知の改正>

- (1) 「材料価格基準」(平成 20 年 3 月 5 日付厚生労働省告示第 61 号)の一部改正(平成 26 年 9 月 30 日厚生労働省告示第 378 号)

「材料価格基準」の別表Ⅱの区分 059 及び区分 066 を次のように改める。	
059 オプション部品	
(1) <u>人工関節用部品</u>	
① 一般オプション部品	22,000 円
② カップサポート	26,200 円
(2)～(5) (略)	
066 人工肘関節用材料	
(1) 上腕骨側材料	
① <u>標準型</u>	324,000 円
② <u>特殊型</u>	<u>339,000 円</u>
(2)～(3) (略)	
(改正箇所下線部)	

- (2) 「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」(平成 26 年 3 月 5 日保医発 0305 第 5 号)の一部改正(平成 26 年 9 月 30 日 保医発 0930 第 6 号)

「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」の(別紙)を次のように改める。	
(別紙)	
告示名	略称
059 オプション部品	
(1) <u>人工関節用部品</u> ・一般オプション部品	オプション部品・OH-1
(1-2) <u>人工関節用部品</u> ・カップサポート	オプション部品・OH-1-2
(2)～(5) (略)	
066 人工肘関節用材料	
(1) 上腕骨側材料・ <u>標準型</u>	人工肘関節・EH-1
<u>(1-2) 上腕骨側材料・特殊型</u>	<u>人工肩関節・EH-1-2</u>
(2)～(3) (略)	
(改正箇所下線部)	

- (3) 「特定保険医療材料の定義について」(平成26年3月5日付保医発0305第8号)の一部改正(平成26年9月30日 保医発0930第6号)

「特定保険医療材料の定義について」の別表Ⅱの区分059及び区分066を次のように改める。

059 オプション部品

(1) (略)

(2) 機能区分の考え方

使用部位又は使用目的により、人工関節用部品(2区分)、人工膝関節用部品(1区分)、人工関節固定強化部品(2区分)、再建用強化部品(1区分)及び人工肩関節再置換用ステムヘッド(1区分)の合計7区分に区分する。

(3) 機能区分の定義

① 人工関節用部品・一般オプション部品

次のいずれかに該当すること。

ア～イ (略)

ウ 骨セメントの流出を防止するために、大腿骨、脛骨、臼蓋底、上腕骨又は尺骨に使用するものであって、骨栓(ボーンプラグ)、セメントリストラクターであること。

② 人工関節用部品・カップサポート

臼蓋形成用カップの固定を補助する目的に使用するカップサポートであること。

③～⑦ (略)

060～065 (略)

066 人工肘関節用材料

(1) (略)

(2) 機能区分の考え方

人工肘関節用材料は、使用部位により、上腕骨側 (2区分)、尺骨側 (1区分) 及び橈骨側 (1区分) の合計 4 区分に区分する。

(3) 機能区分の定義

① 上腕骨側・標準型

以下のいずれにも該当すること。

ア 肘関節の機能を代替するために上腕骨側に使用する材料であること。

イ ②に該当しないこと。

② 上腕骨側・特殊型

以下のいずれにも該当すること。

ア 肘関節の機能を代替するために上腕骨側に使用する材料であること。

イ 摩耗粉を軽減するための以下の加工等が施されているものであって、その趣旨が薬事法承認事項又は認証事項に明記されていること。

ビタミンEに浸漬又は添加されていること。

③ 尺骨側

肘関節の機能を代替するために尺骨側に使用する材料であること。

④ 橈骨側

肘関節の機能を代替するために橈骨側に使用する材料であること。

(改正箇所下線部)

3. 胸郭変形矯正用材料

【販売名】VEPTR II システム

(1) 縦連結用

(2) 横連結用

(ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社)

[決定区分] C 1

[保険償還価格]

(1) 185,000 円

(2) 342,000 円

[決定機能区分]

(1) 152 胸郭変形矯正用材料 (5) 部品連結用 ① 縦型

(2) 152 胸郭変形矯正用材料 (5) 部品連結用 ② 横型

[主な使用目的]

本品は、骨格の未成熟な以下のいずれかの胸郭不全症候群患者における胸郭変形を、機械的に安定・矯正するために使用する。

- ・ 重度の肋骨癒合
- ・ 胸郭形成不良もしくは胸郭形成異常
- ・ 高度な胸郭変形を伴う進行性側彎症

<関連する告示・通知の改正>

- (1) 「材料価格基準」(平成 20 年 3 月 5 日付厚生労働省告示第 61 号) の一部改正 (平成 26 年 9 月 30 日厚生労働省告示第 378 号)

「材料価格基準」の別表Ⅱの区分 152 を次のように改める。	
152 胸郭変形矯正用材料	
(1)～(4) 略	
<u>(5) 部品連結用</u>	
① 縦型	185,000 円
② 横型	342,000 円
	(改正箇所下線部)

- (2) 「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」(平成 26 年 3 月 5 日保医発 0305 第 5 号) の一部改正 (平成 26 年 9 月 30 日 保医発 0930 第 6 号)

「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」のⅠの 3 を次のように改める。	
(1)～(78) (略)	
(79) 胸郭変形矯正用材料	
ア～エ (略)	
<u>オ 部品連結用②横型を用いる場合は、セット(肋骨間用、肋骨腰椎間用又は肋骨腸骨間用)は1回の手術につき1セットを限度として算定できる。なお、医学的根拠に基づき2セット以上を算定する場合は、診療報酬明細書の摘要欄にその医学的根拠を詳細に記載すること。</u>	
(80)～(100) (略)	
	(改正箇所下線部)

- (3) 「特定保険医療材料の定義について」（平成 26 年 3 月 5 日付保医発 0305 第 8 号）の一部改正（平成 26 年 9 月 30 日 保医発 0930 第 6 号）

「特定保険医療材料の定義について」の別表Ⅱの区分 152 を次のように改める。

152 胸郭変形矯正用材料

(1) (略)

(2) 機能区分の考え方

構造及び使用部位により、肋骨間用 (1 区分)、肋骨腰椎間用 (1 区分)、肋骨腸骨間用 (1 区分)、固定クリップ（伸展術時交換用）(1 区分) 及び部品連結用 (2 区分) の合計 6 区分に区分する。

(3) 機能区分の定義

①～④ (略)

⑤ 部品連結用・縦型

複数の肋骨を把持することを目的に①、②又は③に追加して使用するセットで、以下の構成品を含むものであること。

スタガードコネクター

⑥ 部品連結用・横型

複数の肋骨を把持することを目的に①、②又は③に追加して使用するセットで、以下の構成品を含むものであること。

ア トランスバースパー

イ トランスバースクレードル

ウ コネクター

(改正箇所下線部)

(日本医師会医療保険課)